

7月5日（火）、本校において、公開授業研究会 島根県特別支援学校教育研究会実践交流部会 が行われました。

校内研究の『地域のひと、もの、ことを活かした授業づくり ～自分から考え、動く子どもの育成をめざして～』のテーマに基づき、高等部の作業学習、工芸班の木工グループと窯業グループの授業を公開しました。

元愛媛大学教授の上岡一世先生に指導助言者として来ていただきました。

本校教職員のほか、近隣の教職員や関係諸機関の方々にも多数参加していただき、分科会でも活発な意見のやりとりが行われました。

当日の授業の様子を掲載します。

〈工芸班 木工グループ〉 『お客様の声を活かした製品づくりをしよう～ますよう市場に向けて～』



製品を使用した校内の教職員に意見をもらう、モニター制を導入しました。使ってもらった方からの意見をビデオで視聴し、いただいた意見を、製品開発や製品改良等に活かしていくための授業でした。

〈工芸班 窯業グループ〉 『お客様のニーズに応える製品を作るために～地域とつながるますよう窯業製品～』



島根県芸術文化センター・グラントワの「コン・アモール」に納品している製品の返品数を減らそうと、「G プロジェクト」を立ち上げました。より良い製品を作るため、生徒や教員をはじめ、納品先の店員、窯元の指導者も含め、プロジェクトチームでの話し合いを通して、地域に貢献する意識を高めていくための授業でした。

上岡先生の講演では、「生きる力、働く力を育てる授業とは～本校の授業に学ぶ～」というテーマで、“生活の質（生活意欲）や職業生活の質（働く意欲）を高めること”の大切さについて話していただきました。「主体的行動を引き出すための内面の力が生きる力を育てる」、「行動を思考できる力を身につける」など、子どもが主体的に挑戦し、遂行する必要性を感じることができるとともに、多くの示唆を与えていただく貴重な時間となりました。